



2022年12月期 業績説明資料

2023/02/13

代表取締役社長CEO 川端克宜

アース製薬株式会社

エグゼクティブ・サマリー



• 2022年決算

- ▶ 売上高 : 1,523億円、計画比▲ 1.7% (▲26.6億円)
- ▶ 粗利益 : 624億円、計画比▲ 6.6% (▲43.8億円)
- ▶ 営業利益 : 74億円、計画比▲30.8% (▲31.2億円)
- ▶ 虫ケア用品の売上高が市場の低調な推移に伴い、計画割れ
- ▶ 原材料価格高騰・為替変動の影響 (計画比▲15億円) が利益を圧迫

• 2023年計画

- ▶ 売上高 : 1,600億円、前期比+ 5.0% (+76.6億円)
- ▶ 粗利益 : 665億円、前期比+ 6.5% (+40.3億円)
- ▶ 営業利益 : 80億円、前期比+ 7.6% (+ 5.6億円)
- ▶ 高単価新製品のローンチ、価格改定施策、海外成長などを主因に増収・増益を計画



アース製薬

2022年12月期 業績概要

業績ハイライト



(単位：億円)

- 実質的に増収減益ながら、売上・利益ともに計画未達（会計基準変更の影響を除く）
- 天候不順に伴う虫ケア用品市場の低迷、原材料価格高騰・為替変動による影響を大きく受ける

「収益認識に関する会計基準」適用後

	実績	計画比	前期比*	ポイント
売上高	1,523	98.3%	102.4%	・ 虫ケア用品・入浴剤が売上減となるも、 その他日用品や海外の売上成長がカバー
売上総利益	624.6	93.4%	96.7%	・ 原材料高騰影響：前期比▲27.5億円、計画比▲15億円 ・ 収益性の高い虫ケア用品の売上構成比低下
販管費	550.3	98.1%	99.8%	・ コストコントロールを実施し、計画比▲10.6億円の圧縮
営業利益	74.3	69.2%	78.4%	・ 大幅減益
税引前 当期純利益	80.5	73.9%	82.4%	・ 特筆すべき営業外収支・特別損益なし

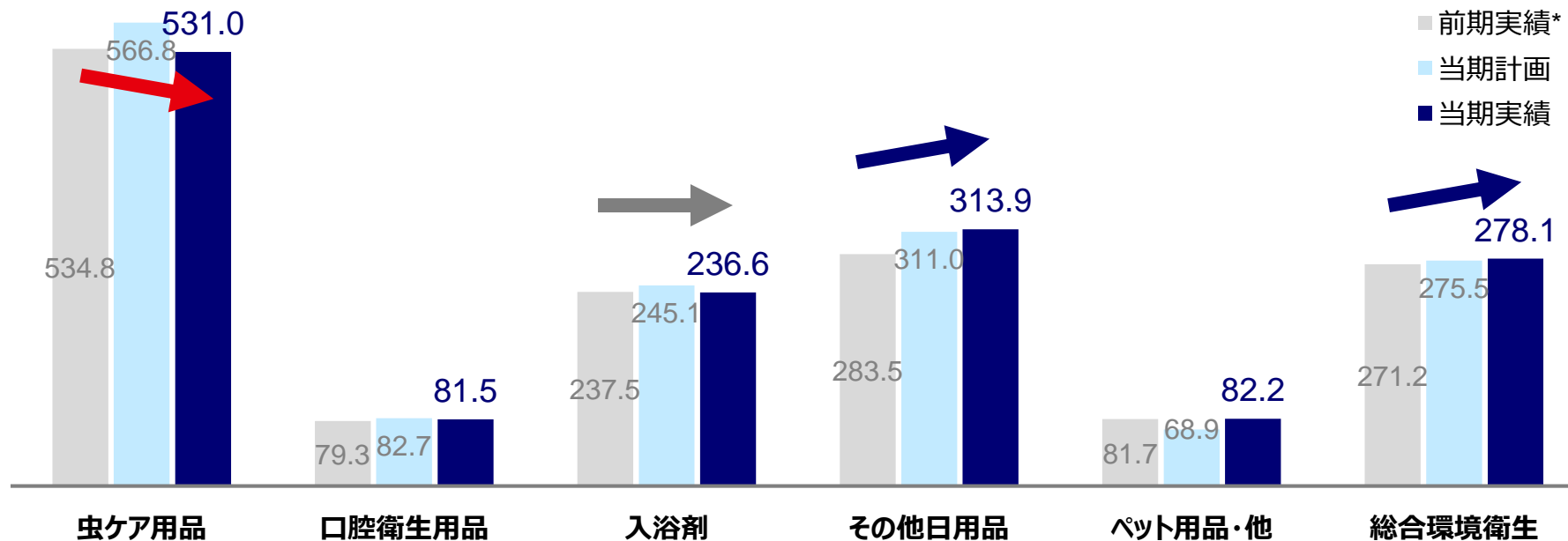
部門別売上高



*外部顧客向け（内部相殺分除く）

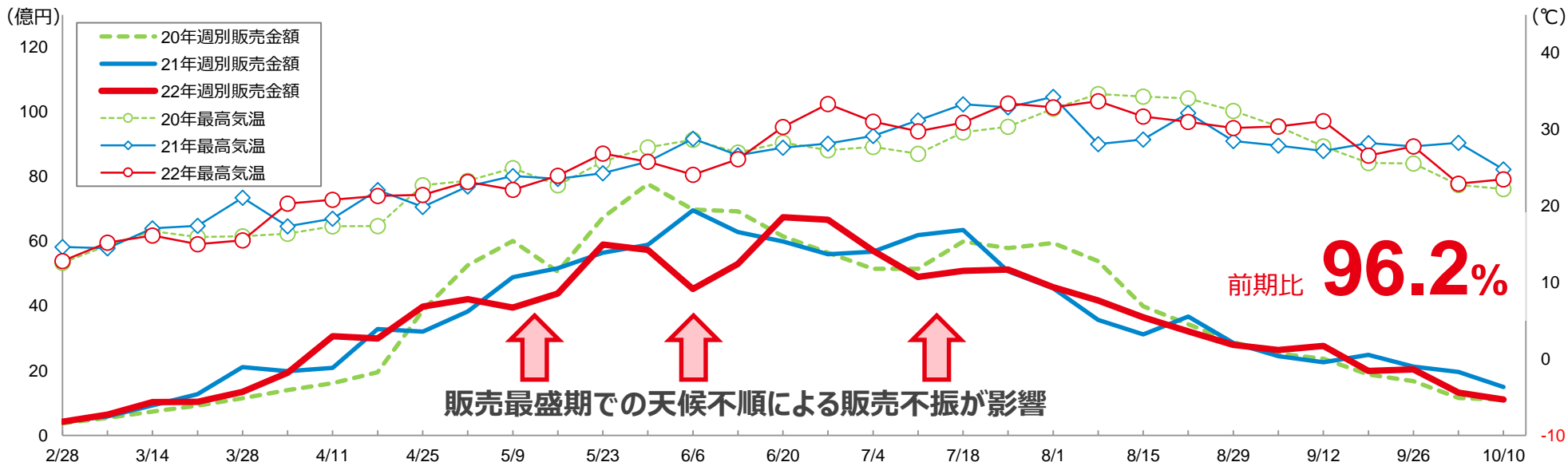
（単位：億円）

- 虫ケア用品の減収、計画未達が業績に影響
- 入浴剤は微減収ながら高水準を維持、その他日用品はニッチ商材のヒットにより大幅増収
- 総合環境衛生事業は順調に売上を拡大



前期差額*	▲3.8	+2.2	▲0.8	+30.0	+0.5	+6.9
計画差額	▲35.7	▲1.1	▲8.5	+2.9	+13.3	+2.5

国内虫ケア用品の状況



当社市場シェア

55.9% ➔ **56.3%** +0.4pt

市場：カテゴリ別販売状況

- ハエ・蚊用、ゴキブリ用が前年を下回る
- ダニ・不快害虫用、虫よけ用品は微増

基幹商品の動向

- アースノーマット

計画比 **87%**



- 虫よけネットEX

計画比 **87%**



原価の状況

- 原材料、包材などの全般的なコストアップに加え、為替変動が影響し、利益を圧迫
- 対前期：27.5億円、対計画：15億円のコストアップ要因

原材料価格高騰の影響

当初計画の前提

利益影響額

▲12.5億円

前提との差異額

利益影響額

▲15億円

【価格高騰している主な原材料・包材】

- 濃グリセリン（モンダミン・入浴剤）
- コハク酸・重曹（入浴剤）
- LPG（エアゾール）
- 樹脂（製品全般の容器・フィルムなど）

為替レートの当初想定との差異

通貨	予算レート		実績レート	予算比
人民元	17.15	➡	19.01	+10.8%
USD	111.00	➡	132.70	+19.5%
THB	3.38	➡	3.80	+12.4%
VND	0.00505	➡	0.00555	+9.9%

為替変動による影響

- 取引規模の関係から、最も影響を受けるのは人民元の為替変動
- 計画比5億円のコストアップ

取り組み成果：高価格帯製品の売上貢献

- 新製品ローンチを通じて、高価格帯の市場を開拓
- 特に虫ケア用品市場においては、高付加価値・高価格帯製品が受け入れられる土壌を形成

『マモルーム』（蚊用・ダニ用）



【売上計画比】

1.7倍 + 3億円

[おうちの中をダニや蚊と出会わない“あんしん”空間へ - mamoroom \(earth.jp\)](http://earth.jp/mamoroom)

『イヤな虫ゼロデナイト』



【売上計画比】

2.3倍 + 3億円

[イヤな虫ゼロデナイト - 虫ストレスゼロへ | アース製薬 \(earth.jp\)](http://earth.jp/yanachin)

取り組み成果：秋季発売新製品の貢献

- 機動的な製品開発により、秋季に計画外の新製品を追加ローンチ
- 想定を上回る売上寄与

秋季発売新製品（抜粋）



【計画外新製品による売上*寄与額】

当初想定

実績

11億円 → 15億円

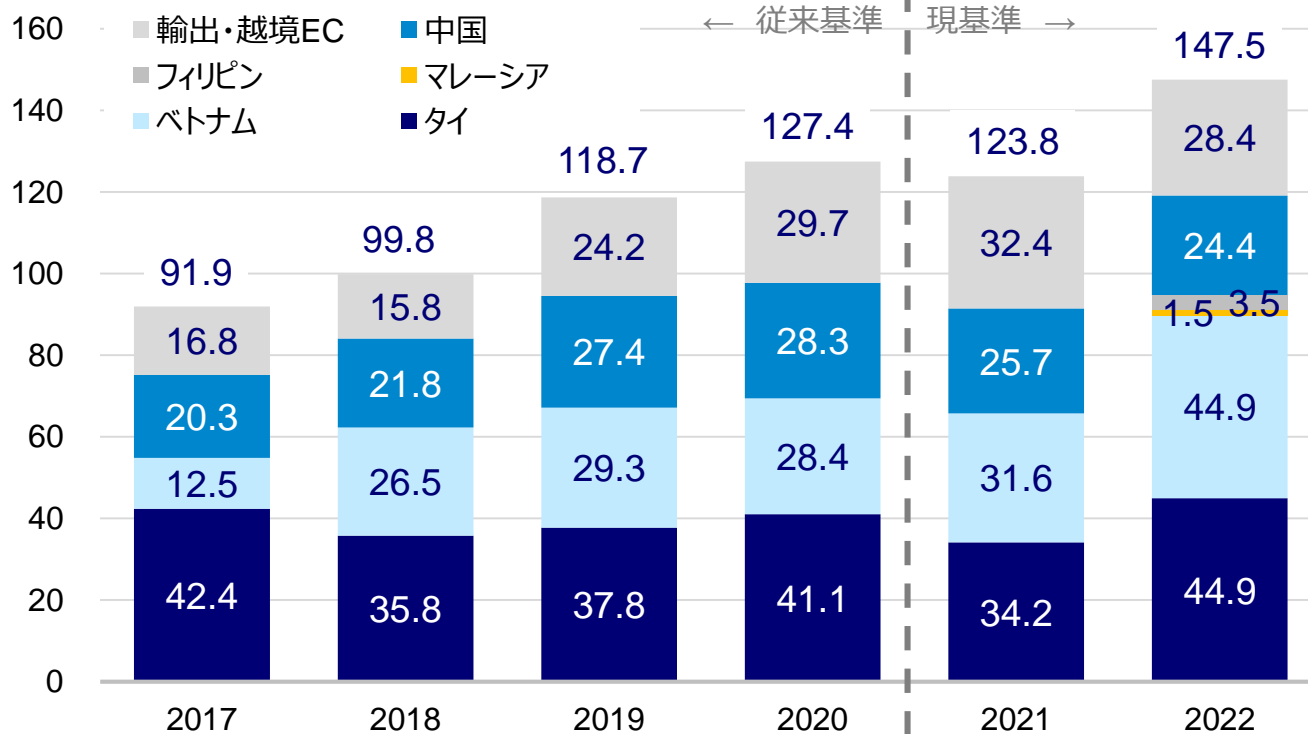
取り組み成果：海外展開の規模拡大



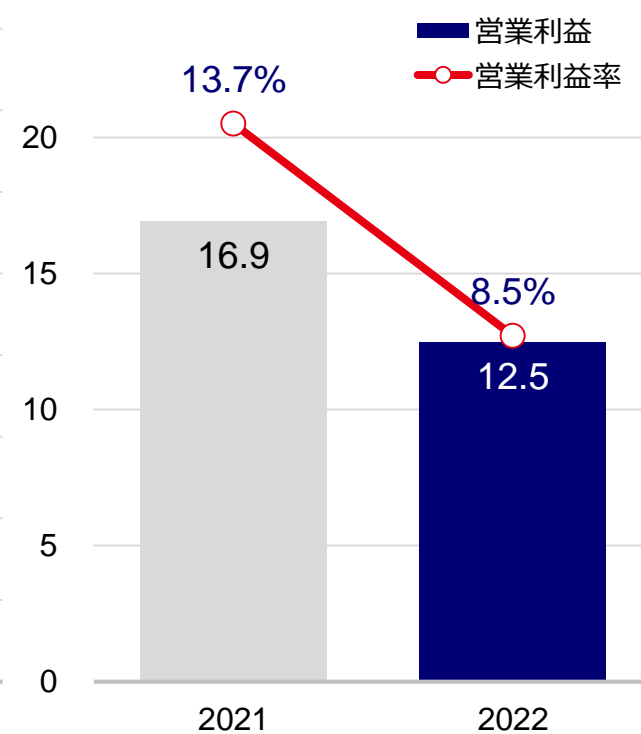
(単位：億円)

- ASEAN中心に順調に拡大を続け、海外展開全体の売上高は前期比119.1%
- マレーシア・フィリピンの新規連結：+4.9億円、オーガニック成長+為替：+19.0億円
- 原材料価格・海上運賃の高騰、輸出の不振などにより、収益性は低下

海外売上高（越境EC含む）



海外営業利益（単純合算）



取り組み成果：コストコントロール

(単位：億円)

■ 業績動向に応じた適切なコストコントロールの実施により、計画比▲10.6億円

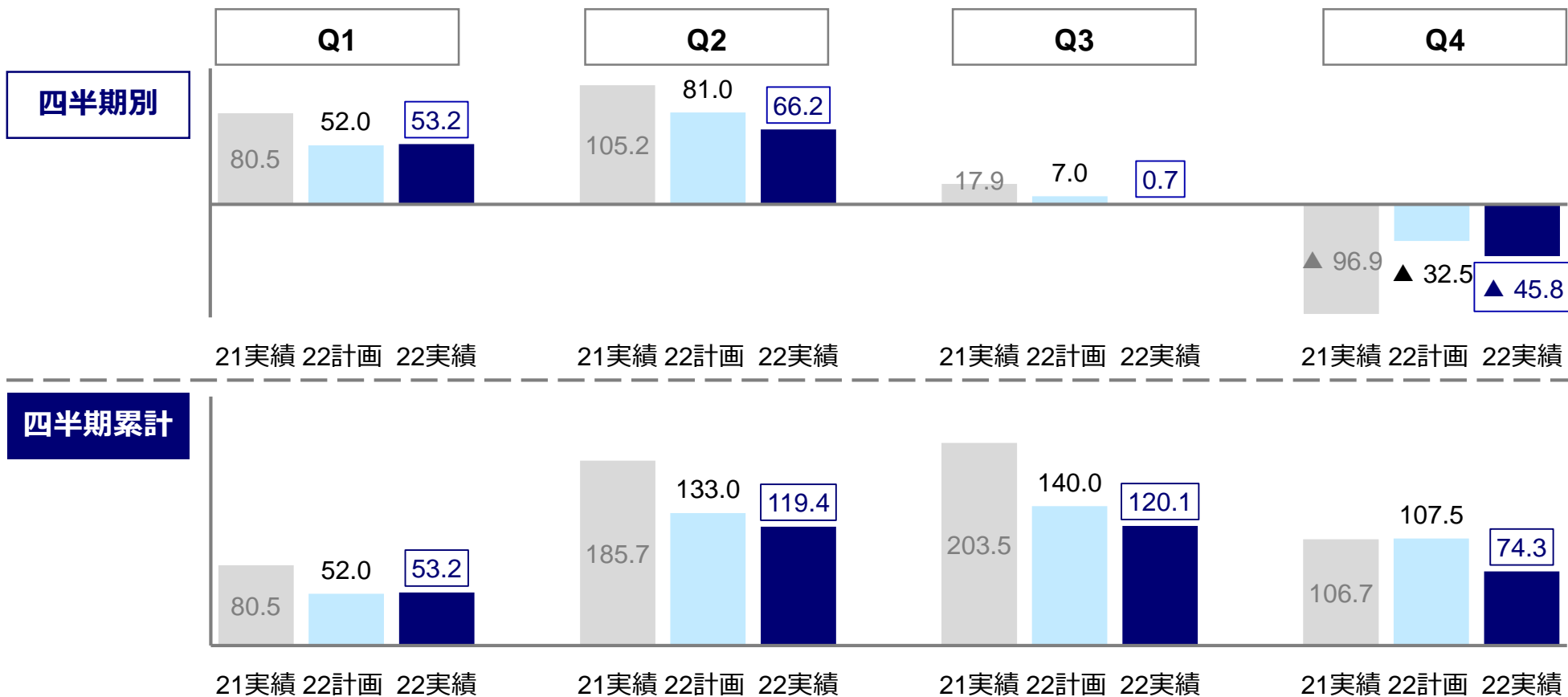
	2021年 4Q累計実績*	2022年 4Q累計計画	2022年 4Q累計実績	計画対比	ポイント
人件費	208.8	209.1	206.8	▲ 2.2	昇給は計画通り、採用計画>キャリア採用人員
運送費	42.7	44.4	45.0	0.5	エネルギー価格の上昇
保管料	23.8	25.1	25.6	0.5	在庫の増加
広告宣伝費	83.9	81.2	73.9	▲ 7.2	業績動向に応じたコントロール実施
販売促進費	5.7	10.7	10.2	▲ 0.4	
研究開発費	31.7	33.8	32.1	▲ 1.6	
減価償却費	12.7	13.8	14.7	0.8	
のれんの償却費	18.3	4.5	4.2	▲ 0.2	(株)バスクリン のれんの償却が22.1Qで終了
旅費交通費	10.9	13.9	13.1	▲ 0.7	
交際費	3.3	4.7	5.2	0.4	
支払手数料	14.6	13.7	13.2	▲ 0.4	
販売手数料	8.1	12.4	14.1	1.6	
雑費	6.9	10.2	8.0	▲ 2.2	
その他	80.0	83.4	84.2	0.5	
販管費 計	551.4	560.9	550.3	▲ 10.6	

取り組み成果：四半期ごとの利益の平準化



(単位：億円)

- 販促費の適時計上により、業績の季節性が緩和
- 第4四半期（10-12月）の利益については、まだ改善の余地あり





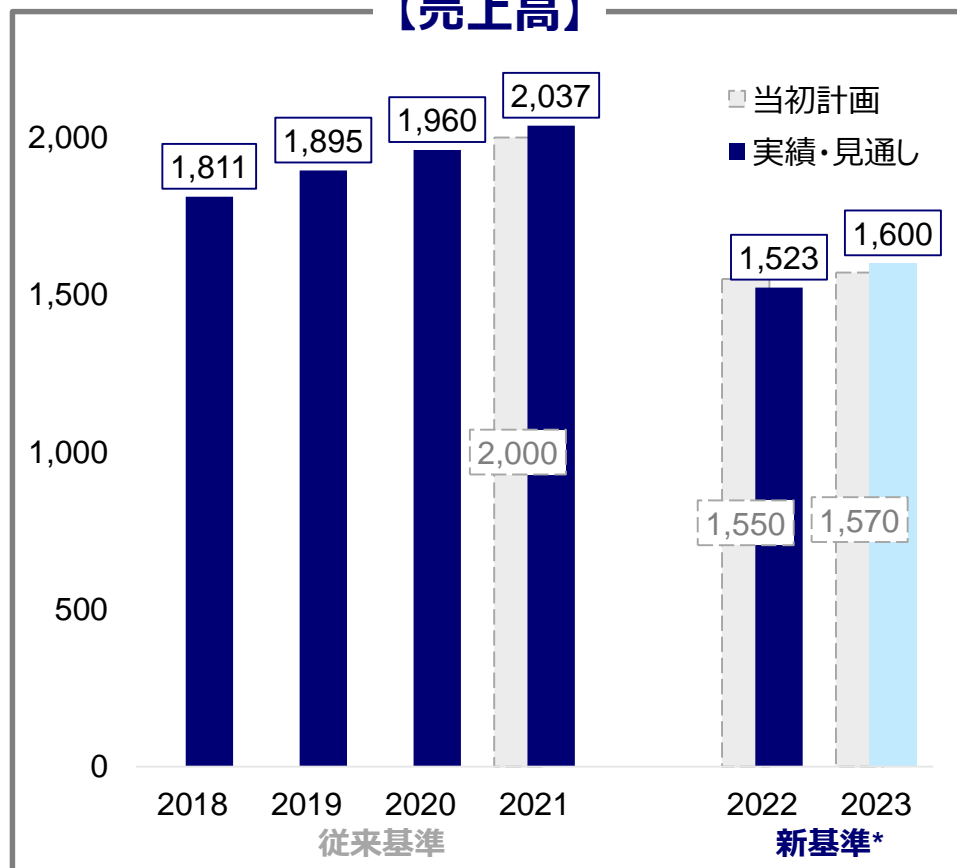
アース製薬

2023年12月期 計画概要

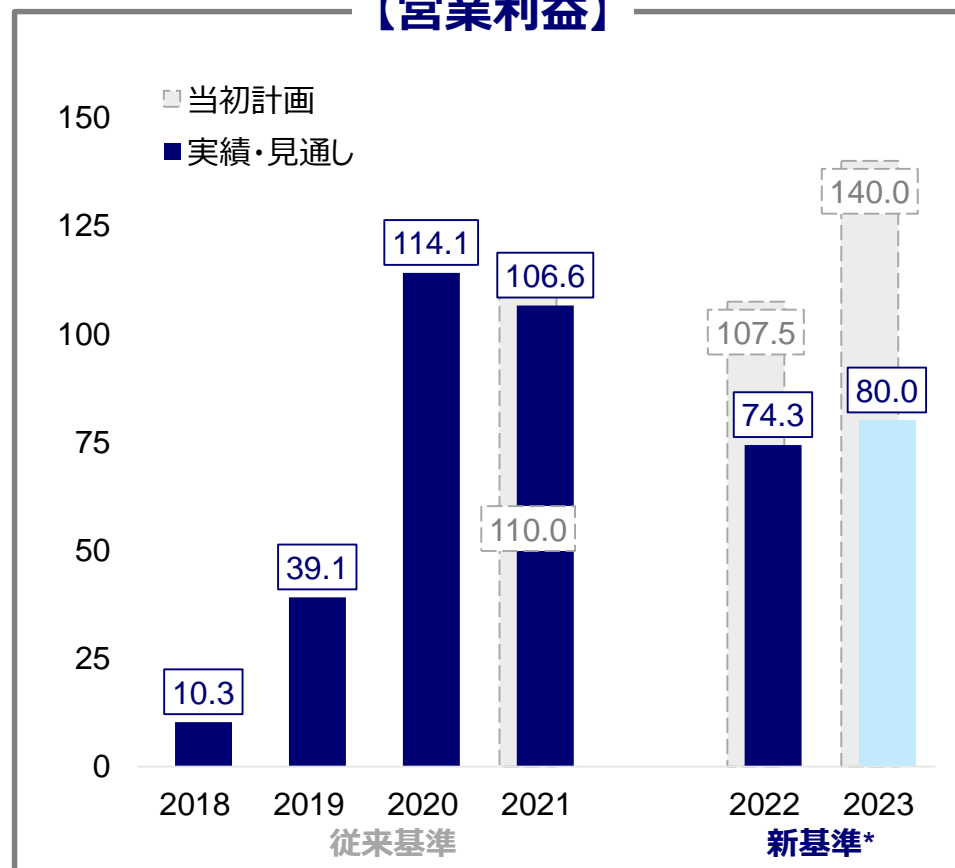
(単位：億円)

- 中期経営計画立案時の前提から外部環境が大きく変化
- 掲げている利益目標は一旦取り下げるが、取り組む方向性に変化はない

【売上高】



【営業利益】



2023年 計画ハイライト



(単位：億円)

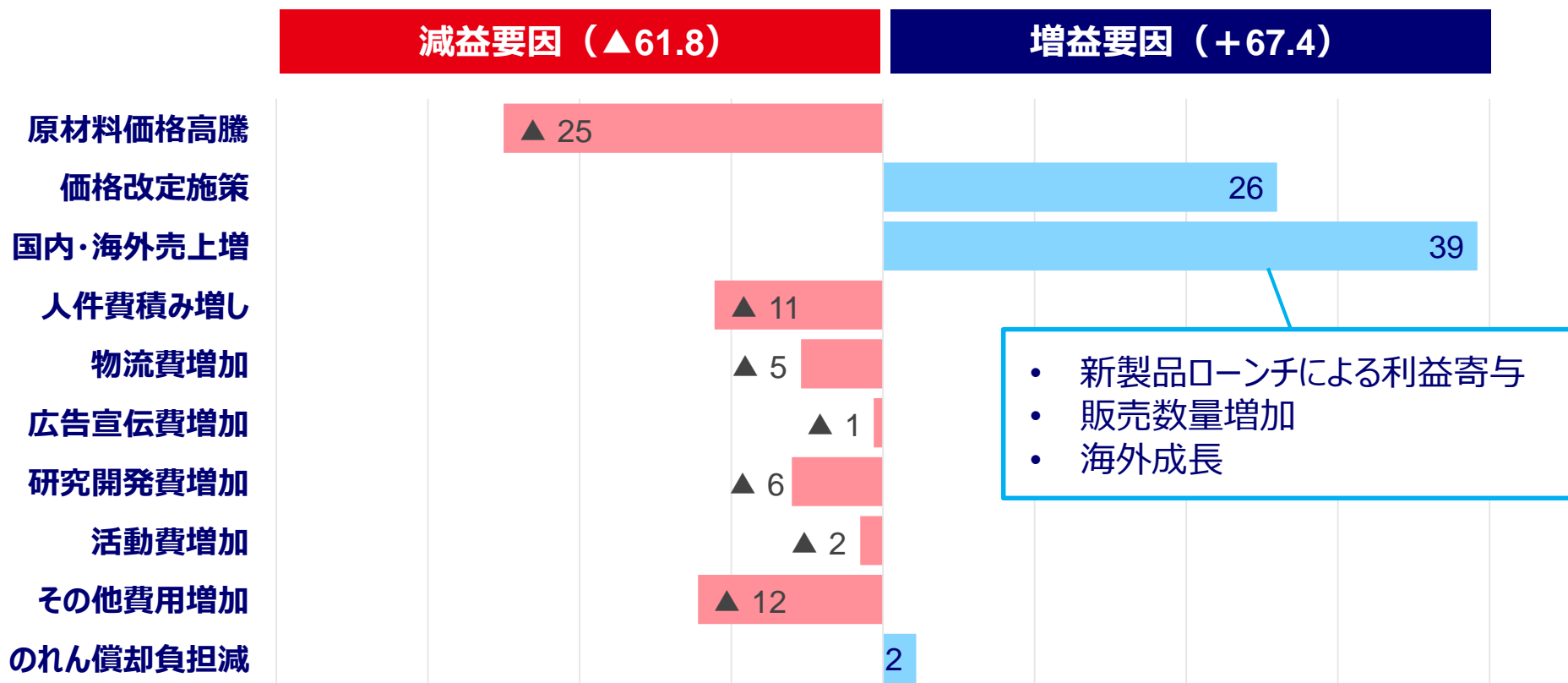
- 持続的な成長に向けた投資による将来収益の拡大と収益構造改革による増益確保を両立する
- 2022年に引き続き、原材料価格高騰の影響を受けるが、価格改定施策により対応

	2023 計画	ポイント	2022 実績
売上高	1,600	<ul style="list-style-type: none">・ 販売数量増、高単価製品のローンチ、価格改定、海外成長・ 虫ケア用品市場は2022年並みを前提	1,523
売上総利益	665.0	<ul style="list-style-type: none">・ 原材料価格高騰の影響想定（▲25億円）を価格改定施策により吸収	624.6
販管費	585.0	<ul style="list-style-type: none">・ 引き続き、適切なコストコントロールを実施・ 将来成長に向けて、人件費を積み増し	550.3
営業利益	80.0	<ul style="list-style-type: none">・ 前期比+5.6億円・ 営業利益率5%の確保	74.3
親会社株主帰属 当期純利益	54.0	<ul style="list-style-type: none">・ 微増益	53.0
ROE	8%台	<ul style="list-style-type: none">・ 資本効率を意識し、最低限のROE目標を掲げる	8.6%

2023年 営業利益変動要因

(単位：億円)

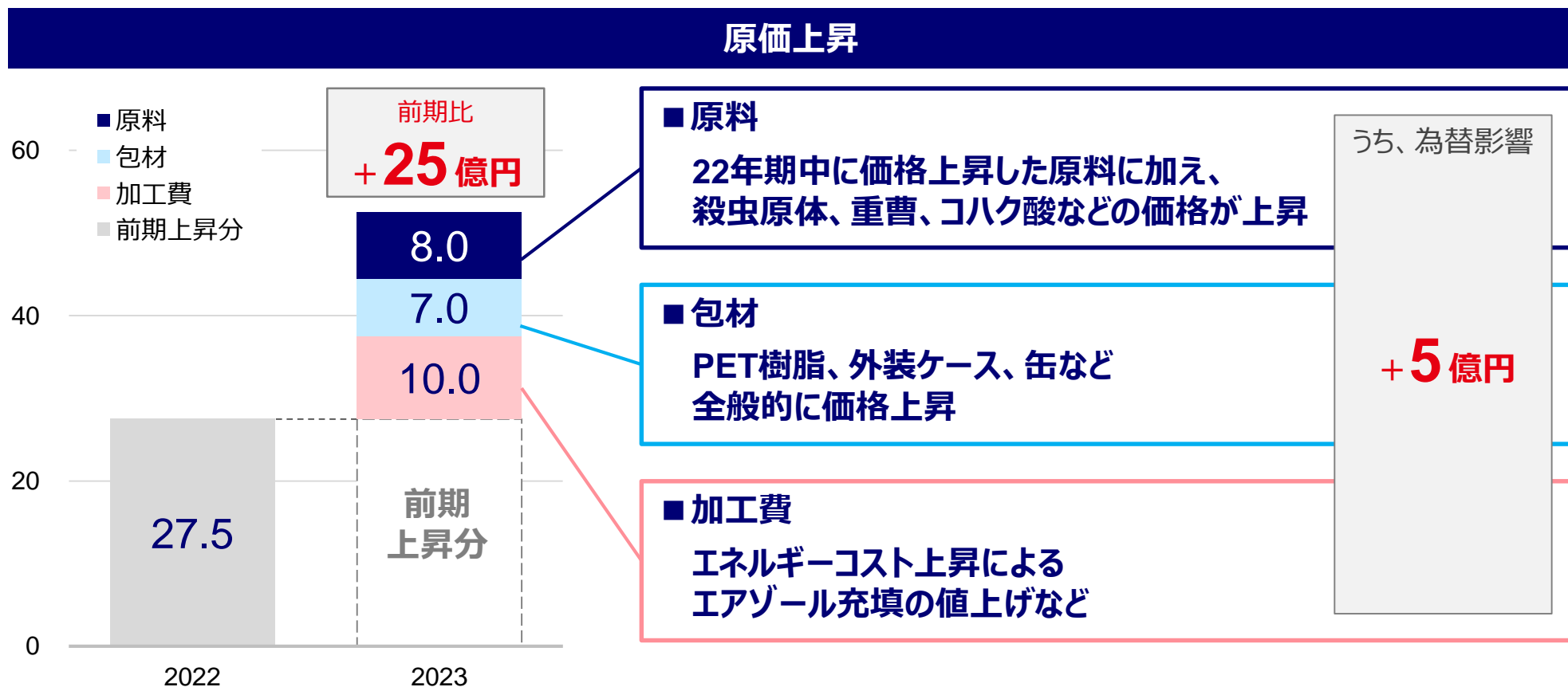
- 原材料価格の高騰による影響は、価格改定施策により吸収
- 国内・海外の売上成長に伴う利益増を見込む一方で、成長に必要な費用は適切に使用
- のれんの償却負担が2億円軽減



想定する原価上昇

(単位：億円)

- 原料、包材、加工費などの全般的な上昇に加え、2022年中の為替変動も影響
- 原材料価格高騰・為替変動による影響額を **+25億円** と見込む



「価値に見合った価格」での販売

- 価格改定により、2023年度の原価上昇影響を吸収
- これまでに形成した高付加価値・高価格帯製品が受け入れられる土壌に、差別化された新製品をローンチし、単価上昇による売上拡大を見込む

価格改定の実施（23年春季）

【対象商品数】

虫ケア用品

49SKU

日用品

19SKU

※ 秋季にも追加の価格改定施策を予定
(今回の計画には含まず)

【利益寄与額】

+ 26億円

高付加価値新製品のローンチ



【新製品売上*計画】

+ 40億円

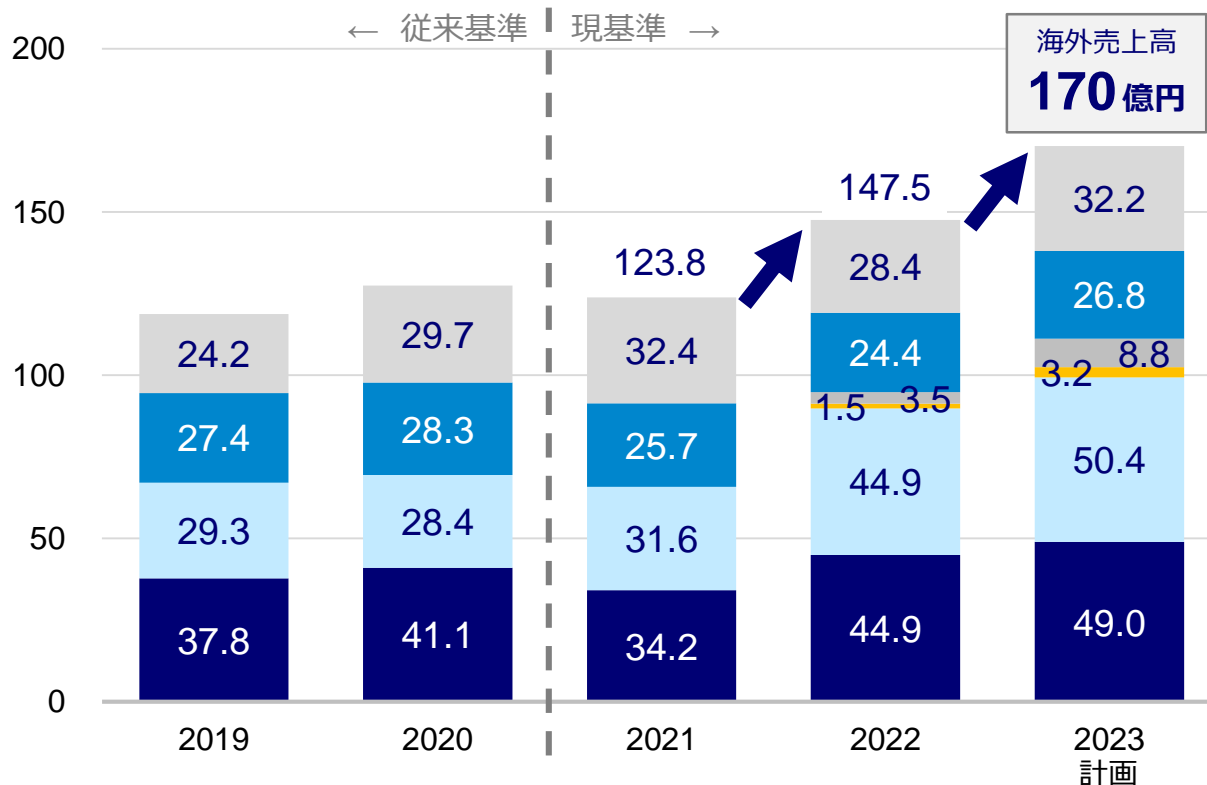
海外成長 ～アジア収益基盤の拡大～



(単位：億円)

- 展開国も増え、売上規模は着実に拡大しているが、成長余地は大きい
- 中期的な海外成長実現に向けて、組織改編（グローバル海外統括本部の設置）を実施
- 各国での市場シェア獲得、利益を伴う売上規模の拡大を重視

海外売上高



為替レート

通貨	22実績	23想定	前期比
人民元	19.01	19.43	+2.2%
THB	3.80	3.68	▲3.2%
VND	0.00555	0.00552	▲0.5%
MYR	29.77	29.10	▲2.3%
PHP	2.40	2.33	▲2.9%
USD	132.70	129.00	▲2.8%

- 輸出・越境EC
- 中国
- フィリピン
- マレーシア
- ベトナム
- タイ



BARTH事業譲受の意義・目的

【戦略的意義】

- **BARTHの「世界観」・「ブランド価値」の獲得**
 - ▶ BARTHは、「美容」・「睡眠」・「リカバリー」を切り口にお客様の潜在ニーズを喚起し、バスタイムからスリープタイムまでの「ナイトルーティン」を訴求し、独自の世界観を確立
 - ▶ 本事業譲受により、入浴剤をはじめとする“製品”そのものに加え、これまでに構築した独自の世界観・ブランドおよびマーケティングノウハウを獲得する

【将来構想】

- **ノウハウを活かした収益性の向上／既存製品とのシナジー発揮**
 - ▶ BARTHの「デザイン性」、「機能性」、「コンセプト」、「中～高価格帯」による差別化で創られた世界観をベースに、「BARTHブランド」×「当社既存 or 新規カテゴリー」の製品を生み出し、高価格帯での製品展開による収益性の向上を視野に入れる。
 - ▶ 当社既存カテゴリーにおいてもシナジー発揮を目指す

投資案件の進捗状況

- 資本効率を意識し、収益成長に向けた投資を実施。案件ごとにハードルレート（8%を目安に案件ごとのリスクを考慮）を設定し、投資採択基準に基づく意思決定プロセスを適切に運用

【投資の状況】

主な投資案件	目的	2022年				2023年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
・ フィリピン現地法人M&A	・ アジア収益基盤の拡大の一環	★	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----->
・ 『BARTH』事業譲受	・ 事業成長に向けた ブランドラインナップの拡張				事業譲渡 ☆ 契約締結	クロージング ★ (予定)	-----	-----	----->
・ 基幹システムの刷新	・ 生産・調達・販売物流など 多岐にわたる領域での効率化	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----->	★
・ 排水処理場の耐震補強	・ BCP対応				-----	-----	-----	----->	★
・ 入浴剤 生産ライン増設	・ 需要増加に対応した 生産キャパシティの拡大	-----	-----	-----	-----	-----	----->	★	
・ 虫ケア用品 生産ライン増設	・ 需要増加に対応した 生産キャパシティの拡大							-----	----->
・ 徳島ペットランド・新研究棟建設	・ 研究施設等の刷新による 製品開発力の増強			-----	-----	----->	★		

株主還元

【株主還元ポリシー】

- 安定配当をベースに、業績や内部留保の水準に応じて、増配・自己株買いなど機動的に検討
- KPI : DOE（純資産配当率）4～5%

配当関連KPI

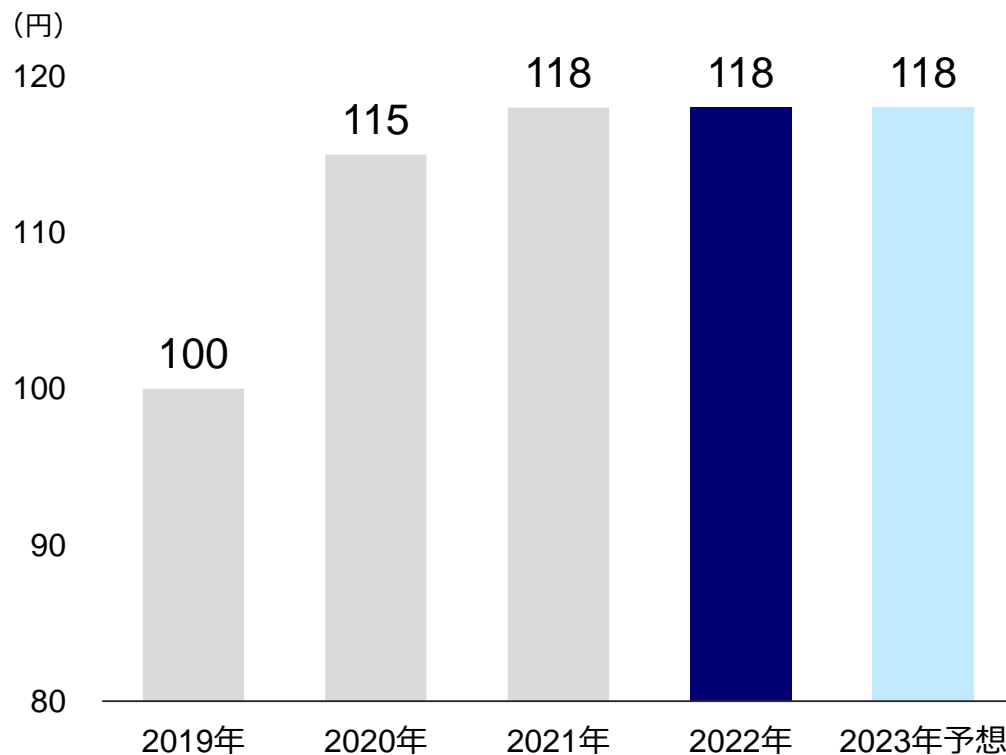
DOE（純資産配当率）

2022年
4.2% → **4%台**
2023年予想

連結配当性向

2022年
49.1% → **48.2%**
2023年予想

1株当たり配当金推移



地球を、キモチいい家に。



EARTH
Act For Life

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

以下、参考資料

国別取り組み：タイ

現地法人業績（億円）

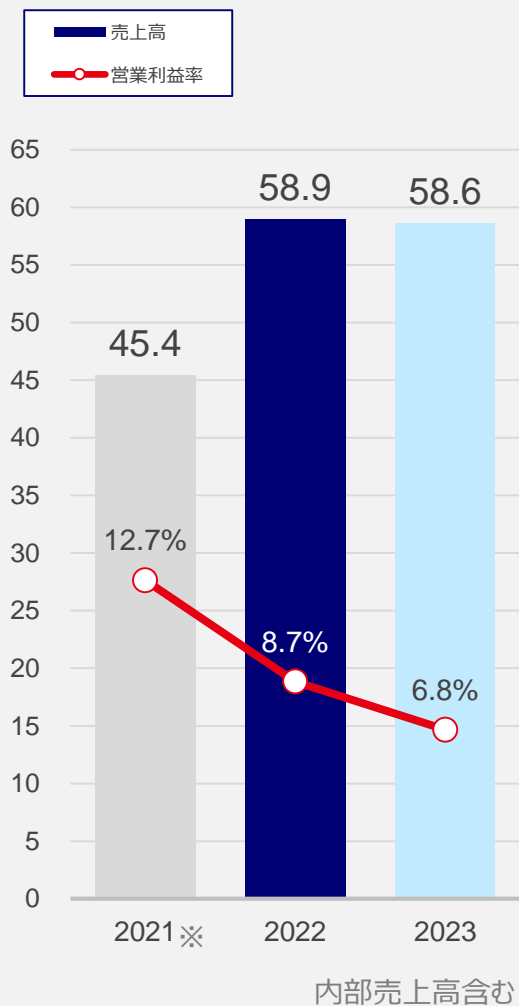
2023年売上計画（現地通貨ベース）：2022年対比102.6%

2022年振り返り

2023年以降の取り組み

- タイ国内市場シェア
虫ケア：15.0%（No.2）獲得
芳香剤：13.6%（No.3）獲得
- タイ国内チャネルにおいて定番拡大
- 原材料高騰の影響を受けるものの、
販促費をはじめ、費用を細かくレビューし、販管費比率の低減により利益確保

- 中期的な虫ケア用品市場シェアNo.1に向けた営業・マーケティング活動の強化
 - 定番棚割りの改善
 - フォーカスSKUの設定
- 在庫調整・削減によるスリム化収益性改善
- 固定費・変動費のコストダウン実施



国別取り組み：ベトナム

現地法人業績（億円）

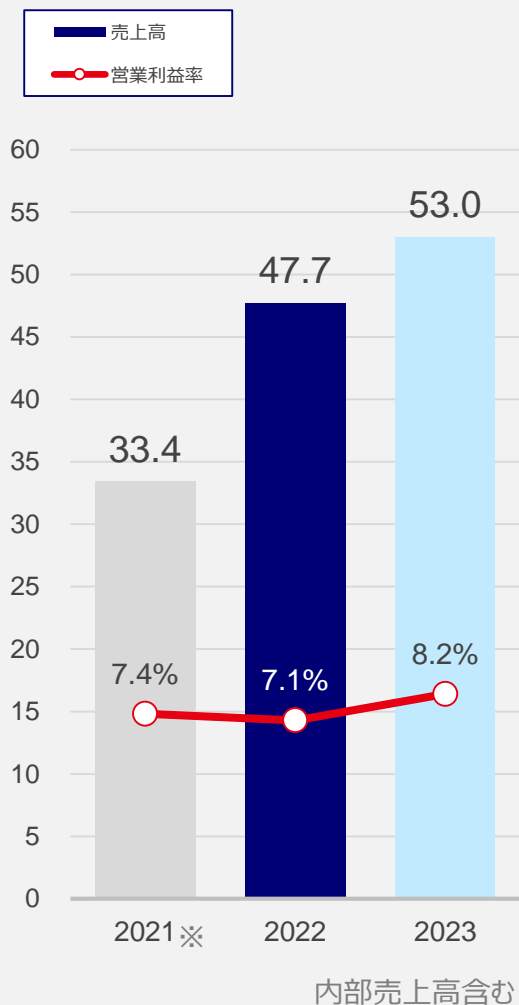
2023年売上計画（現地通貨ベース）：2022年対比111.6%

2022年振り返り

2023年以降の取り組み

- 2021年のロックダウンの反動もあり、大幅増収を達成
- 原材料費、物流費高騰による粗利益の圧迫
- 営業利益率は若干低下したが、増収に伴い営業増益を達成

- 配荷件数の拡大による市場シェアの上昇
 - ・ 虫ケア：11%（No.3）獲得
 - ・ 芳香剤：24%（No.2）獲得
- 『Mondahmin』導入
 - ・ サンプルングなどプロモーション強化
- 収益性の改善
 - ・ 資材高騰は落ち着く見込み
 - ・ 上期 製品値上げを予定
 - ・ コストダウンは継続



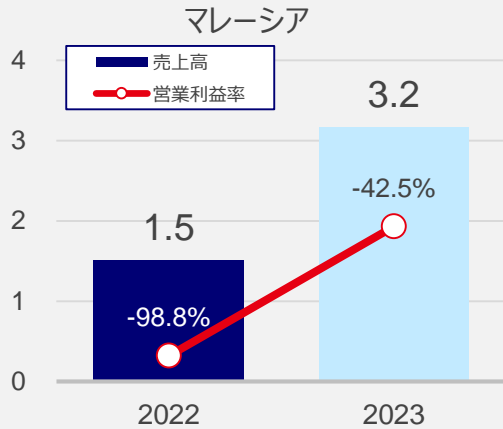
国別取り組み：マレーシア・フィリピン

現地法人業績（億円）

2023年売上計画（現地通貨ベース）：2022年対比214.5%

2022年振り返り

2023年以降の取り組み



- 既存品の販路拡大により、売上は計画を上回る
- 原材料価格高騰の影響に加え、プロモーションコストの増加により、利益は計画未達



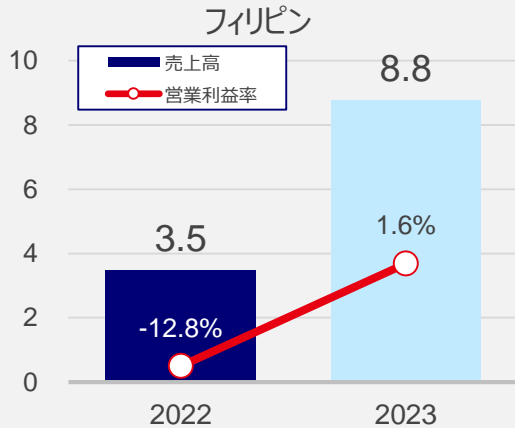
- 黒字転換に向けた売上規模拡大
 - ・ 虫ケア用品・芳香剤の新製品ローンチ
- 市場の80%を占める西マレーシアエリアの強化

現地法人業績（億円）

2023年売上計画（現地通貨ベース）：2022年対比259.9%

2022年振り返り

2023年以降の取り組み



- コロナウイルスの蔓延に伴う市場縮小の影響を受ける
- リスティングフィーとの見合いから、新製品投入を厳選して実施

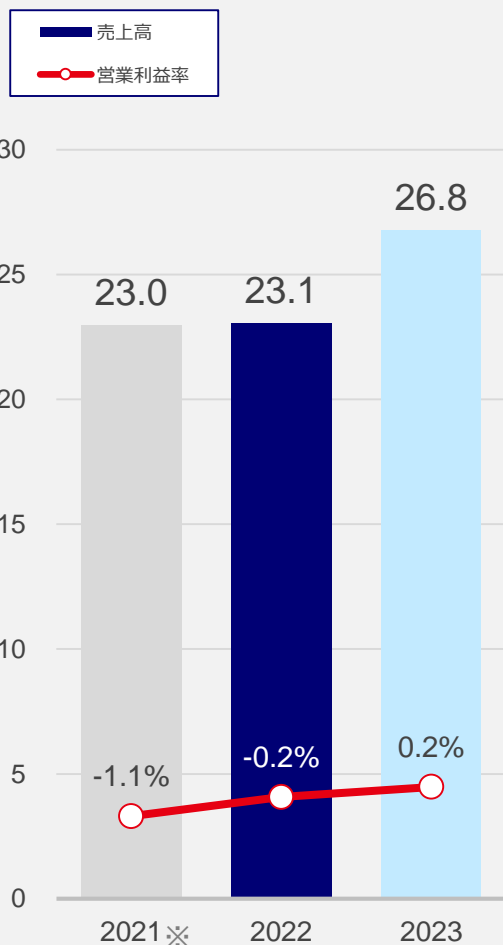


- 虫ケア主力製品の導入拡大
 - ・ エアゾール
 - ・ ゴキブリ駆除
 - ・ ネズミ捕獲・毒餌

国別取り組み：中国

現地法人業績（億円）

2023年売上計画（現地通貨ベース）：2022年対比113.7%



2022年振り返り

- 冬季五輪開催による物流規制、大規模ロックダウンにより、ビジネス・経済が停滞
- オフライン店舗の閉鎖、ECにおける虫ケアカテゴリーの低調な推移などにより、現地通貨ベースでの売上高は前期割れ
- 販促活動が制限された影響から、販促費率が改善



2023年以降の取り組み

- 新規ECチャンネルでの販売積極化
- デジタルプロモーション積極化
 - ・ ライブコマースの活用
 - ・ バナー、リスティング広告
- オフラインにおける販売先の厳選



2022年12月期 業績説明補足資料

【連結】損益計算書



(単位：百万円)

	2021年	2022年	2022年		2023年		2021年	
	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績	前期比	計画比	年間計画	前期比	4Q累計実績**
売上高	148,793	155,000	152,339	102.4%	98.3%	160,000	105.0%	203,785
売上原価	84,174	88,150	89,870	106.8%	102.0%	93,500	104.0%	121,451
売上総利益	64,619	66,850	62,468	96.7%	93.4%	66,500	106.5%	82,334
販管費	55,142	56,099	55,034	99.8%	98.1%	58,500	106.3%	71,666
営業利益	9,477	10,750	7,434	78.4%	69.2%	8,000	107.6%	10,667
営業外収益	759	500	747	98.3%	149.4%	600	80.3%	759
営業外費用	65	100	47	73.5%	48.0%	300	625.3%	65
経常利益	10,171	11,150	8,133	80.0%	72.9%	8,300	102.0%	11,362
特別利益	153	0	60	39.6%	#DIV/0!	0	0.0%	153
特別損失	553	250	136	24.8%	54.8%	80	58.4%	553
税引前利益	9,772	10,900	8,057	82.4%	73.9%	8,220	102.0%	10,963
粗利率	43.4%	43.1%	41.0%	▲ 2.4pt	▲ 2.1pt	41.6%	0.6pt	40.4%
営業利益率	6.4%	6.9%	4.9%	▲ 1.5pt	▲ 2.1pt	5.0%	0.1pt	5.2%
税前利益率	6.6%	7.0%	5.3%	▲ 1.3pt	▲ 1.7pt	5.1%	▲ 0.2pt	3.5%

【連結】部門別売上高



(単位：百万円)

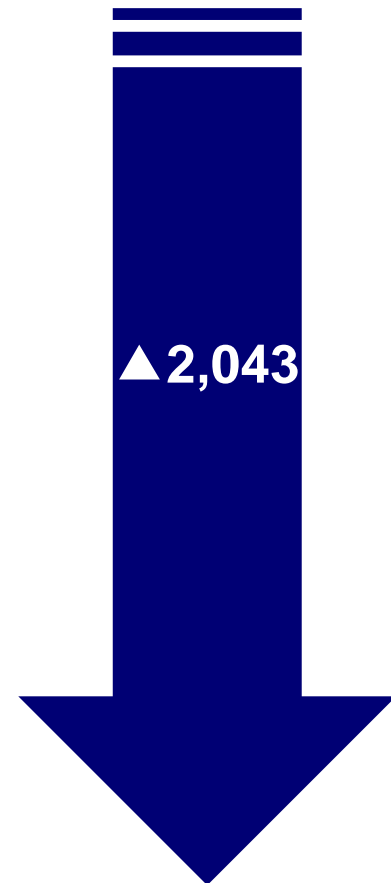
	2021年	2022年	2022年		2023年		2021年	
	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績	前期比	計画比	年間計画	前期比	4Q累計実績**
虫ケア用品部門 計	59,623	61,431	59,368	99.6%	96.6%	61,713	104.0%	69,000
口腔衛生用品	7,957	8,280	8,191	102.9%	98.9%	8,442	103.1%	46,935
入浴剤	26,840	27,219	26,946	100.4%	99.0%	28,518	105.8%	29,915
その他日用品	30,222	32,792	33,137	109.6%	101.1%	34,016	102.7%	33,303
日用品部門 計	65,021	68,292	68,275	105.0%	100.0%	70,977	104.0%	110,154
ペット用品・その他部門 計	8,838	8,039	8,843	100.0%	110.0%	9,465	107.0%	9,338
家庭用品事業 計	133,483	137,763	136,486	102.3%	99.1%	142,156	104.2%	188,493
総合環境衛生事業 計	27,253	27,700	27,973	102.6%	101.0%	28,500	101.9%	27,234
内部売上高含む合計	160,736	165,463	164,460	102.3%	99.4%	170,656	103.8%	215,728
(調整分)	▲ 11,942	▲ 10,463	▲ 12,121			▲ 10,656		▲ 11,942
総合計	148,793	155,000	152,339	102.4%	98.3%	160,000	105.0%	203,785
(構成比)								
虫ケア用品部門	37.1%	37.1%	36.1%	▲ 1.0pt	▲ 1.0pt	36.2%	0.1pt	32.0%
日用品部門	40.5%	41.3%	41.5%	1.1pt	0.2pt	41.6%	0.1pt	51.1%
ペット用品・その他部門	5.5%	4.9%	5.4%	▲ 0.1pt	0.5pt	5.5%	0.2pt	4.3%
家庭用品事業	83.0%	83.3%	83.0%	▲ 0.1pt	▲ 0.3pt	83.3%	0.3pt	87.4%
総合環境衛生事業	17.0%	16.7%	17.0%	0.1pt	0.3pt	16.7%	▲ 0.3pt	12.6%

連結：営業利益変動要因（前期比）



（単位：百万円）

9,477 **2021 実績***



7,434 **2022 実績**

<内訳>

売上総利益の減少 ▲2,151	<ul style="list-style-type: none"> 増収効果 + 1,604 売上構成比の変化 原材料価格・為替変動の影響 	+ 1,604	} ▲3,755
販管費の減少 + 108	<ul style="list-style-type: none"> 人件費の減少 物流費の増加 広告宣伝費の減少 販売促進費（売上控除以外）の増加 旅費・交際費などの活動費 支払手数料の減少 その他 	<ul style="list-style-type: none"> + 197 ▲405 + 999 ▲455 ▲415 + 139 + 48 	

+は増益要因、▲は減益要因

連結：営業利益変動要因 (計画比)

(単位：百万円)



【連結】販管費



(単位：百万円)

	2021年	2022年	2022年	前期比	計画比	2023年	前期比	2021年
	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績			年間計画		4Q累計実績**
人件費	20,882	20,910	20,685	99.1%	98.9%	21,795	94.9%	14,750
運送費	4,276	4,449	4,502	105.3%	101.2%	4,821	93.4%	3,225
保管料	2,386	2,511	2,565	107.5%	102.2%	2,793	91.8%	1,824
広告宣伝費	8,392	8,120	7,393	88.1%	91.0%	7,452	99.2%	5,686
販売促進費	574	1,070	1,029	179.3%	96.2%	1,071	96.1%	11,546
研究開発費	3,172	3,386	3,217	101.4%	95.0%	3,821	84.2%	2,032
減価償却費	1,277	1,388	1,475	115.5%	106.3%	1,653	89.2%	936
のれんの償却費	1,836	450	429	23.4%	95.3%	207	207.2%	1,413
旅費交通費	1,092	1,393	1,317	120.6%	94.5%	1,456	90.5%	784
交際費	332	474	522	157.2%	110.1%	532	98.1%	207
支払手数料	1,462	1,372	1,323	90.5%	96.4%	1,653	80.0%	1,061
販売手数料	813	1,245	1,410	173.4%	113.3%	1,405	100.4%	518
雑費	691	1,028	802	116.1%	78.0%	1,549	51.8%	541
その他	7,957	8,303	8,365	105.1%	100.7%	8,292	100.9%	5,755
販管費 計	55,142	56,099	55,034	99.8%	98.1%	58,500	94.1%	50,278
(構成比)								
人件費比率	14.0%	13.5%	13.6%	▲ 0.5pt	0.1pt	13.6%	0.0pt	7.2%
広告宣伝費比率	5.6%	5.2%	4.9%	▲ 0.8pt	▲ 0.4pt	4.7%	▲ 0.2pt	2.8%
研究開発費比率	2.1%	2.2%	2.1%	▲ 0.0pt	▲ 0.1pt	2.4%	0.3pt	1.0%

【連結】貸借対照表

(単位：百万円)

		2021年 期末	2022年 期末	前期比 増減額
流動資産	現金及び預金	21,027	14,772	▲ 6,254
	売上債権	22,941	24,163	1,222
	たな卸資産	27,502	32,253	4,750
	その他	2,547	2,772	225
固定資産	有形固定資産	27,551	29,483	1,932
	無形固定資産	4,276	5,355	1,078
	投資その他の資産	14,868	15,688	819
資産 計	120,715	124,489	3,774	
流動負債	仕入債務	32,449	35,525	3,075
	短期借入金	2,498	2,200	▲ 298
	その他	17,351	15,615	▲ 1,736
固定負債	長期借入金	1,200	0	▲ 1,200
	その他	2,618	3,129	511
負債 計	56,118	56,470	352	
純資産	株主資本合計	57,537	59,631	2,094
	その他の包括利益累計額	2,421	3,163	741
	非支配株主持分	4,638	5,224	585
純資産 計	64,596	68,018	3,421	

【連結】キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

(単位：百万円)	2021年 期末	2022年 期末	前期比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,814	3,901	▲ 912
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,220	▲ 6,266	▲ 3,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 4,610	▲ 4,464	145
現金及び現金同等物に係る換算差額	327	447	120
現金及び現金同等物の増減額	▲ 2,688	▲ 6,381	▲ 3,693
現金及び現金同等物の期首残高	23,716	21,027	▲ 2,688
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加		126	126
現金及び現金同等物の期末残高	21,027	14,772	▲ 6,254

【連結】 設備投資額・減価償却費

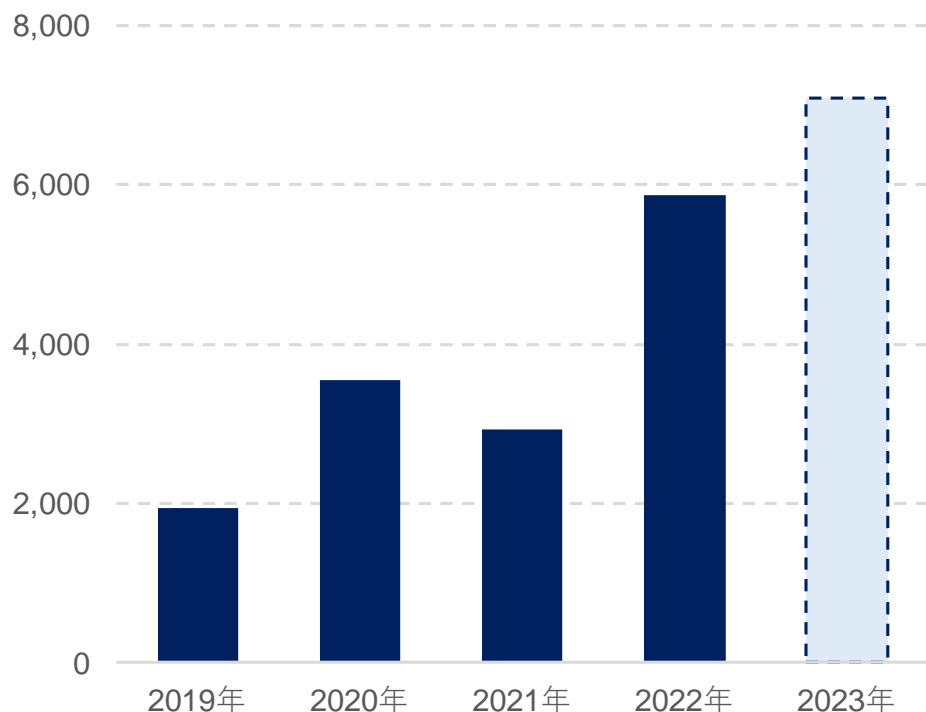


(単位：百万円)

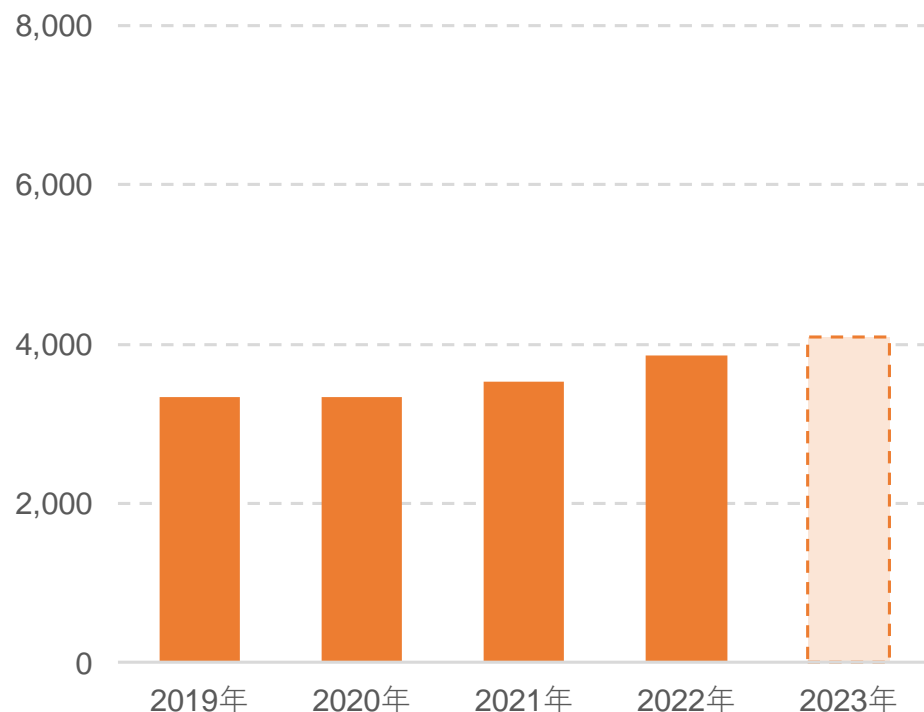
	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2022年 実績	2023年 計画
設備投資額	1,953	3,548	2,928	5,878	7,100

	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2022年 実績	2023年 計画
減価償却費	3,334	3,334	3,537	3,853	4,100

設備投資額



減価償却費



【グループ各社】業績概況



(単位：百万円)

アース製薬				バスクリン			白元アース			アース・ペット		
(単位：百万円)	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年
	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績
売上高	78,179	80,665	76,594	15,453	15,982	15,754	17,893	19,451	18,923	6,367	6,758	6,502
売上総利益	34,211	35,393	31,002	6,717	6,615	6,353	6,477	6,588	5,947	2,447	2,557	2,354
営業利益	7,301	6,882	3,840	1,281	1,250	974	925	910	723	239	220	140
Earth(Thailand)Co.,Ltd.				Earth Corporation Vietnam			EARTH HOME PRODUCTS (MALAYSIA)			EARTH HOMECARE PRODUCTS (PHILIPPINES)		
(単位：百万円)	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年
	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績
売上高	4,537	4,849	5,894	3,342	3,924	4,771	0	153	151	0	0	347
売上総利益	1,522	1,508	1,735	1,261	1,592	1,780	0	57	18	0	0	134
営業利益	578	419	512	247	302	340	0	▲ 92	▲ 149	0	0	▲ 44
安斯(上海)投資有限公司				天津阿斯化学有限公司			安速日用化学(蘇州)有限公司			アース環境サービス		
(単位：百万円)	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年
	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績	4Q累計実績*	4Q累計計画	4Q累計実績
売上高	2,296	2,545	2,305	3,607	3,002	3,567	1,803	1,290	1,675	27,253	27,700	27,973
売上総利益	452	594	634	652	360	579	440	178	335	10,899	11,558	11,675
営業利益	▲ 26	9	▲ 5	262	33	205	198	14	136	824	1,430	1,430

地球を、キモチいい家に。



EARTH
Act For Life